ふかまちのまど

第二九六号　一九九一年　一月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三二二九二

「ふかまちのまど」ホームページのアドレスは
http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

連合町内会活動報告

新年のあいさつ

深町連合町内会
会長　力石　秀喜

亥

新年明けまして、おめでとうございます。町民の皆様には、新春をお迎えの事と謹んでお喜び申し上げます。

昨年は、町内会の活動・運営に格別のご理解と温かいご指導を頂き大変有難く、役員一同心より厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、七月の集中豪雨により、三原市に豪雨被害をもたらし深町町内も例外ではなく被害が有り町内の皆様には大変なご心配をお掛けしました。再度防災の大切さを再認識しました。

さて町内においては、各種団体共に大変な中で、ご協力と活動をして頂き大変感謝しています。相互協力で益々の活動をいただきます様よろしくお願いします。

新春にあたり今後共町内の皆様のご協力、ご理解をお願い申し上げます。

本年は新年号の年が皆様にとりましていい年で在ります様、御祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせて頂きます。

▲▲

第十四回三原市民ビーチボールバレー大会

深町連合町内会
体育部長　法代地　功一

「元気を出そう三原」をスローガンに十二月十六日（日）九時三十分から、三原リージョンプラザ体育館にて十九地区六十六チームの選手と役員四百五十余名の参加で開催されました。

深小学校体育館で午後七時から二時間、四回にわたり寒い中練習を行い、小学生の男子・女子、十八歳以上四十歳未満の男子・女子の計四チームが出場しました。

小学生の女子は参加チームが三チームと少なく、総当たり二試合を行い、優勝チームに二対一と善戦しました。他の三チームはトーナメント方式で行い初戦で敗戦しました。

練習から試合の反省点をあげながら団結力が増し、次回への力を感じました。これも、子ども会、PTA、選手、応援、お手伝い頂いた皆様のお陰と思います。

次回は二〇二〇年一月十九日（日）の予定です。皆様の参加をお待ちしております。次回も頑張ります!!

▲▲

深小だより

持久走大会

三原市立深小学校
校長　松島　恵子

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は、深小学校に対してたくさんのお力添えをいただきましたこと、深く感謝申し上げます。子どもたちと豊かな教育活動を行なうことができておりますのも、地域や保護者のみなさまの温かいご支援・ご協力のおかげとあらためてありがたく思っております。

さて、向かいの山からお日様が出てくるのが待ち遠しく思われる十二月十八日、校内持久走大会を行いました。例年、一月に行っていましたが、風邪・インフルエンザが流行する時期でもあり、本年度はひと月早めの実施としましたが、とてもおだやかな日差しの中での開催となりました。

子どもたちは、一人ひとり目標をもって大会に臨みました。大会に向けての朝の五分間走や体育の時間の試走の姿からも子どもたちの意気込みが伝わってきていました。自己記録更新をめざす子、最後まで走り続けることを決意する子、上位入賞をねらう子など、目標はそれぞれありますが、どの子も目標を達成しようと取り組んできての大会です。ただ、持久走は体も心もしんどい、苦しいスポーツです。途中、辞めたくなることもあるかもしれません。が、その苦しさに負けずにもう少しだけ、もう少しだけとがんばって限界に挑戦して自分を高めていくことのできるスポーツでもあります。アメリカ合衆国の大統領であったニクソンの、「人間は負けたら終わりなのではない。辞めたら終わりなのだ。」という言葉を紹介し、子どもたちをコースへと送り出しました。途中、保護者や地域の方からの温かい声援に元気をもらい、ゴールへ走り込む子どもたちの姿に胸が熱くなりました。最後にがんばった自分とがんばった友だちに拍手を送り、大会を閉じました。主体性・自らへの自信を育むよい機会となりました。

「できたこと」「できてないこと」をしっかりと整理し、三学期も、「夢と志をもち、共に高めあう児童の育成」をめざして教職員一同、チーム深でがんばります。保護者・地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

▲▲

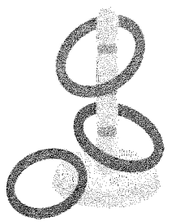
尚寿会だより

忘年会　親睦会

尚寿会　会長
原　勇吉

十二月十八日忘年会を兼ね親睦会を開催しました。当日天気も良く楽しく一日を過ごす事が出来ました。

まず初めに出前講座、ロコモ運動器症候群を予防しよう。筋力とバランス能力の低下及び骨や関節、筋肉の低下を防ぐ方法について学んだ。又、二グループに分かれ頭脳の再生トレーニングを行い競いあった。



次に輪投げ、ミニボウリング、マグダーツの競技に入り技を競いあった。一位　岡本さん、二位　小川さんでした。

待ちに待った会食。日頃逢うことのない人と歓談しながら楽しいひと時を過ごす事が出来た。最後にメインイベントのビンゴゲーム、希望する景品が当たるかどうか神様頼み。

今年最後の行事を楽しく過ごす事が出来ました。来年も良い年でありますよう様念じ閉会しました。

参加下さいました皆さん有難うございました。

▲▲

歩く会にご参加を

歩く会幹事　石井　堂熙

須波西（皇后八幡神社）

月　日　一月二十二日（火）
予備日　一月二十四日（木）
行程
九時〇〇分　深町上組公民館発（車）
九時三〇分　須波西周辺探訪
十一時三〇分　探訪終了　昼食
十三時三〇分　深町上組公民館着（車）

▲▲

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう。

深小の子供は

○午後四時過ぎに下校します。
※日によって、異なることがあります。
○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ声かけをしましょう

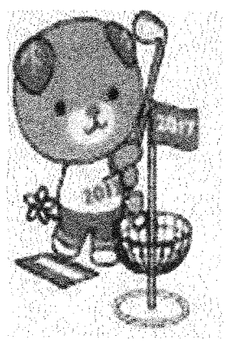
深町各種団体一月行事予定

◆下組町内会
▼総仏法要　六日
◆消防団
▼出初式　二〇日
◆小学校
▼始業式　登校指導　七日
▼標準学力調査　九日
▼放課後子ども教室　一〇日
▼PTA役員会　一一日
▼竹取り（一四時から）　一九日
ふれあい広場準備　二六日
▼新春ふれあい広場　二七日
▼縄跳び大会　三一日
◆如水館中学・高校
▼中学入試　五日
▼始業式　七日
▼身だしなみ週間　七～一三日
▼学年朝会（高二年）　八日
▼学年朝会（高一年）　九日
▼学年朝会（高三年）　一〇日
▼高校入試　一五日
▼センター試験　一九・二〇日
▼英語検定　二五日
▼国公立二次三者面談　二六・二七日
▼小論文対策セミナー（一・二年）　三〇日
漢字検定

TBG協会だより

第八十二回三原市ターゲット・バードゴルフ大会

第八十二回三原市TBG月例大会が十二月十五日（土）深町・城山コースにて行われました。



成績は次の通りです。
一位　井上　幸子
二位　林　洋祐
三位　船本　雄三
ベスグロ六十　井上　幸子
二人組戦　船本　雄三
一位　笠井　隆三

コミュニティボックス終了のお知らせ

ニチエー中之町店様にて設置していましたコミュニティボックスが十月末日をもちまして終了致しました。

期間中は町内・外の皆様の温かいご理解とご協力を頂き心より厚くお礼を申し上げます。皆様からいただきましたご厚意は、これからの活動に又コース整備・維持管理に使わせていただきます。

※選手の敬称略

次回大会は一月十九日（土）

TBG事務局　天木　雅之
（TEL　六三二二九〇）

▲▲

第二中学校だより

文化祭を終えて

一年　佐藤　美希

今回の文化祭でたくさんの事を学びました。

一つ目は、仲間と協力することの大切さです。私は、小道具のかかりで、人前で行動することはなかったけど、人の前に出てえんぎする人の少しでもやく立つことができたかなと思いました。こんかいの仕事で、かげで支えることの大切さを学びました。どこの人がぬけても、だめだったと思いました。理由は、一人一人が自分の役を、一生けんめいはたしていたからです。

二つ目は、みんなの心を一つにすることです。合唱コンクールでは、ピアノが止まったり、すこし大変なことはあったけど、みんなが一生けんめい、れんしゅうしていたから、のりこえることができたのかなと思います。

これからも、この文化祭で学んだことをいかして、すこしでも人の役に立てるような人になりたいと思いました。この文化祭は、たくさんのことを学べて、良い思い出になりました。

▲▲

文化祭

一年　船本　志伸

文化祭がありました。ぼくは、その中で、心に残っている事、がんばった事が三つあります。

一つ目は、劇です、ぼくは生徒の役でした。決まった時は、正直びっくりしました。最初は、恥ずかしくてなかなか演じられなかったけど、少しずつ練習を重ねるごとに演じることができるようになりました。聞いてくれている人が興味を持ってくれるように、大きな声でハキハキと話しました。ぼくは、今回の劇や防災学習からいろいろな事を学びました。その中でも心に残っているのは、「自分の身は自分で守る」ということです。友達の命の事も大切ですが、まずは自分の命を助けることが大切です。

二つ目は、展示するための作品づくりです。主にがんばったのは、家庭科でつくったウォールポケットと美術の水彩画です。ウォールポケットは、ミシンでぬったり、自分で好きなアップリケをつくってアイロンではりつけたりしました。ぼくは、いろいろな形に切りました。水彩画では、ポスターカラーを使って身近な物と好きな言葉をかきました。「ピース」と「平和主義」とかきました。これは、この世界が平和になってほしいという思いでかきました。手のはだの色を調節したり、平和主義を強調するために工夫しました。

三つ目は、合唱コンクールです。課題曲と自由曲の二曲を歌いました。最初は大きな声で歌うことができなかったけど、自分が出したらみんなも出してくれると信じ、歌いました。優勝はできなかったけど、終わったら、達成感を味わうことができました。

この文化祭でぼくが学んだことは、一生けん命にがんばるということです。このことは、行事だけでなく、普段の生活にも使えるので活かしていこうと思います。

▲▲

如水館中・高等学校だより

第七回広島県ジュニア美術展　優秀賞　受賞

如水館中学校三年　森本　結菜

私は、今回、広島県ジュニア美術展で優秀賞を受賞することができました。この広島県ジュニア美術展は、県内の小学生や中学生の美術の作品の公募展で、絵画だけではなく、写真や工芸、デザインなども募集されます。

今回の私の作品は、アクリル絵の具をつかい、心象画をデザインしました。締め切りまで短い間の中でしたが、私の中にある思いや感情を作品の中に込めることができました。

十二月十五日には広島県立美術館で授賞式があり、受賞された作品が一堂に会されました。私のほかにも素晴らしい作品がたくさんあり、感動しました。作品は十二月二十四日まで展示されていますので、是非、ご覧になってください。

今後は如水館高等学校の美術部で油絵に挑戦し、個性的な絵をたくさん描いていきたいと思います。

▲▲

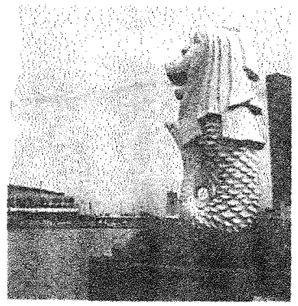
修学旅行で

如水館中学校　二年　秋廣　あゆみ

私達は十月三十日から五日間、シンガポールに行ってきました。出発する前は、「英語で話さないといけないな」「迷子になったりしないかな」といろいろ心配でしたが、初めていく外国はどんな感じなのかなと、ワクワクもしていました。

シンガポールでは、水をリサイクルするニューウォーターやビジターセンターや近未来的な植物園ガーデンズ・バイ・ザ・ベイなど、日本では体験することのできない貴重な体験をすることができました。

私がこの学習旅行で一番の思い出になったことは、現地の大学生と交流し、一緒に街へ観光しに行ったことです。セントーサ島というアトラクションがたくさんある島に行ったり、チャイナタウンでショッピングしたり、とても楽しめました。大学生の方は日本に興味はあるけれど、日本語は話せなかったため英語しか話せる手段がなく、大変な時もありましたが、今まで自分達が習ってきたことを活かして楽しく過ごせたと思います。



私はシンガポールに行ってみて、植物がたくさんあり、とてもキレイな国だということやお店の店員さんや街の人々、みんながやさしいということを実感しました。また、たくさん英語を使って、英語のスキルがアップしたと思います。大人になって、もう一度シンガポールに行くのもいいなと思うし、他の国の人と接してみるのもいいなと思います。みなさんもシンガポールに行ってみてください!!

▲▲

深小今昔ものがたり（十五）「親子対抗リレー」

尾道市美ノ郷町　石井　哲代

縦割りの掃除は、上級生が下級生を、いたわり自ら箒の使い方、雑巾の絞り方、拭き方を丁寧に教えてあげてピカ〜の二階校舎に輝いておりました。

秋の運動会で新しい演目に、四年生の親子リレーが組まれました。

子供達は作戦を練りました。「〇〇のお父さんは速いで。」「オリンピックの選手じゃったんとー。」「〇〇のおかあさんも速いでー。」四年生から見ると大人は皆速いと思えてたのでしようねー。子供は子供なりに作戦をねりました。作戦が漏れるからと、私にも内緒でした。親チームがハンデーを付けようと言われたのに対して「イラン!!」子ども達は断固、固辞して対等にスタートにつきました。親も一生懸命!!バトンタッチ子どもも負けじとバトンタッチ前半は、男親が多く半周以上はなされておりました。全校総立ちで応援です。その時です。お父さんが第一のカーブをまわり切れず〝ストーン〟子供の組は〝それ行け!!〟〝おかあさんが〟行け!!〝父兄の組は〟〝やっぱり〟主になり、〝スローダウン〟。子供の組が正々堂々と勝ちました。

力を合わすことの大切さ。最後まで頑張り切ることの大切さを胸にしまいこんだ、小学校四年生の親子リレー風景でした。

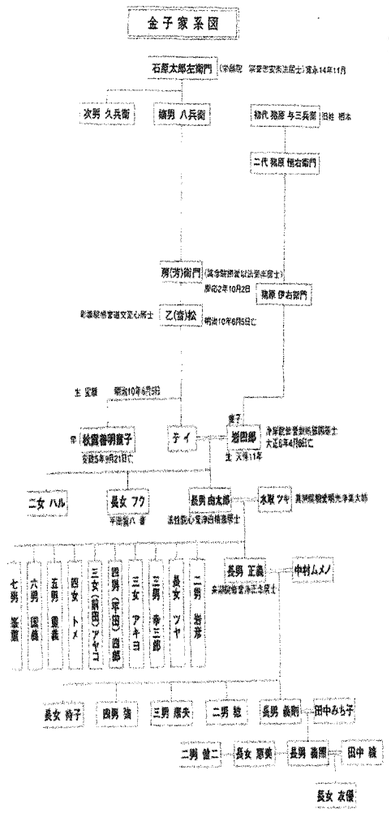
▲▲

『栖本郡代　石原太郎左衛門之事』

第十一回

〇むすびにかえて。

三年程前、金子義則氏が私の自宅に来られ『私の先祖は、栖本郡代を務めていた石原太郎左衛門と聞いている。証明するような物は無いが調べてくれないか。』との話であった。金子氏は、私より二歳年長で、氏の実弟稔君は同級生であり旧知の間柄である。以前より、石原太郎左衛門の名は、我が町（栖本町）では知られており、金子家はその子孫という話は聞いていた。また、『天草島原の乱』当時、栖本郡代所の代官としての活動は、『四郎乱物語』を解読した折り読み知っている程度ではあるが、栖本の通史の一コマとしての知識はあった。しかし、それ以上の知識も資料も無く、私は逆に、『あなたの家に家系図かそれに類するもので古い位牌や過去帳はありませんか。古文書は。遺品・遺物は。墓は。』と尋ねると、『ほとんど無い。』との事である。そこで、『伝承を何でも良いから、ノートに纏めて書いて来て下さい。』と頼んでおいた。それかれ三〜四度話す機会もあったが進展する事なく、私の聞き書きのメモと、氏の伝承に関するメモを預って、更に手がかりになる資料を探してもらっていた。ところが昨年（平成二十四年十二月十四日）死去されてしまった。肺癌と言う事で、六十九歳であった。昨年から調査していたものを一応終え執筆もメドが着いた事もあり、石原太郎左衛門に関する調査を行ってみた。



執筆　鶴田　耕治
発行　金子みち子

完▲▲

新年のご挨拶

サンライズ大池
施設長　河野　芳満

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

深町の皆様と共に、当施設も新しい年を迎える事が出来ました事は、ひとえに地域に皆様の温かいご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

さて、二〇一九年は皆様ご承知のとおり十月一日に消費税増税が予定されており、介護業界につきましては、増税を財源とした現場の人手不足解消に向けた施策の議論が大詰めを向かえております。ロボットやICTの活用が進歩したとしても、介護は人の力が最も大切なキーワードとなります。当施設につきましても、暮らしやすく・働きやすい環境を目指し、より一層取り組んでまいります。

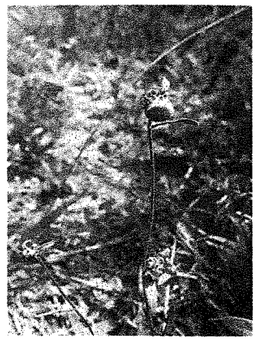
また、二〇一七年より着工しております大規模改修工事は、現在二期工事（主に外壁塗装等）をおこなっております。開設から二十年が経過致しました当施設も内外装共に生まれ変わり、新たな歴史を積み重ねました。工事期間中は多方面にわたりご迷惑をお掛け致しておりますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

これからも、地域の皆様に愛される施設となります様、職員一同取り組んでまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

▲▲

《サジガンクビソウ》



深町の植物

力石　卓夫（三原市宗郷）

花の形が「煙管の雁首（キセルのがんくび）」に、似ていて、それに根元の方の葉っぱが、「サジ（匙）」の形に似ていることから。

※九月十九日撮影

▲▲